

令和6年度（2024年度）島根県立大学  
国際関係学部 国際関係学科  
国際コミュニケーションコース

一般選抜（前期日程）

小論文

【解答時間 90分】

以下の1から8をよく読んでその指示に従うようにしてください。  
指示に従わない場合は、不正行為と見なしますので、注意してください。

1. 解答開始の合図があるまで、この問題冊子を開かないでください。許可なく問題冊子を開いた場合は、不正行為と見なします。
2. 解答時間は90分です。
3. 試験問題は、1ページから3ページです。解答開始の合図があった後、問題冊子を確認し、印刷不鮮明の箇所等があった場合は、直ちに申し出てください。
4. 解答用紙は2枚あり、問題冊子とは別になっています。解答は指定された解答用紙の解答欄に横書きで記入してください。
5. 受験番号、氏名は2枚の解答用紙の所定欄すべてに記入してください。
6. 問題冊子の余白を下書きに利用しても構いません。
7. 試験時間中の退出はできません。
8. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

## 第1問

日本のジェンダー問題を解決するために、どのようにすればよいか、次の文章を踏まえながら、あなたの考えを700字以内で述べなさい。

先日、ZOOMで雑誌のインタビューを受けていて、にわかには信じがたいことが起きた。先方の女性編集者が同じ福岡市の出身だということで、「へー、どちらですか？」と質問をしたら、出身校を教えてくださいました。

「わたし、実は高校生の頃、あなたの高校の近くをウロウロしてましたよ。『Yのおばちゃんのスタジオ』と呼ばれた有名なスタジオがあって、いや、ふつうの民家の中にあっただけですけれどね。そこでバンドの練習をしていたので」

と答えると、なんと先方も

「ええっ！わたしもYのおばちゃんのスタジオを使ってました。バンドをやっていたので」と言う。こんな偶然があるだろうかと思った。ブライトンと福岡と東京が一瞬にして繋がった。

「利用料がやすく、学生にはありがたかったんですよー」

「そうそう、おばちゃんがたまに麦茶とか出してくれて」

と話をはずませていると、女性編集者がこう言った。

「あそこはたくさん人が出入りしていたので、学校でも問題視されていました。行くなど言われてましたもん。だけど、おばちゃんはずっと安いスタジオ料で音楽のためにがんばって……。おばちゃんも闘っておられたんです」

時は1980年代の、パンクやポストパンク全盛の時代である。あんな閑静な住宅街の一軒家に奇妙な服装をした若者たちがとっかえひっかえ出入りしていたら、よからぬ不良のたまり場と思われたらろうことは容易に想像がつく。

あの時代、めんたいロックだ、日本のリバプールだ、などと言われて福岡の音楽シーンが注目されていたのは、それを育てた土壌があったからだ。有名になったバンドはほんの一握りでも、その周縁には無数のバンドがいて、その活動を支援する無数の人々がいた。何もないところからいきなりすごいバンドたちが出て来たわけではないのだ。Yのおばちゃんも、福岡の音楽シーンを支えていた一人であったのは間違いない。

ところで、その日のインタビューのテーマは、福岡出身のロックバンドの話ではなく、「女性と政治」だった。なぜ欧州では女性の政治指導者たちが数多く誕生しているのに、日本はそうならないのか。世界ジェンダーギャップ・ランキングでも、156カ国中120位というぶっちぎりの低いランク（ちなみに英国は23位。日本の上の119位はアンゴラだ）に日本がいるのも、「経済」「政治」「教育」「健康」の4分野の中で「政治」の指数が極端に低いことが原因になっているからだ。

こういう問題について書き始めると、「そげんこと言うたっちゃ、うちは母ちゃんのほうが強かばい」と言う人もいるのだが、うちの母ちゃんが強いことと、社会的に女性

の地位が低いことは別物である。家庭内でいかに母ちゃんが幅を効かせていようとも、パートの職場で男性より昇進しにくかったり、昇進しない理由が「小さな子どもがいるから重要な仕事は任せられない」とかだったりしたら、母ちゃんは社会的には強くない。だって「子どもがいる」がネックになって昇進できない男性はほぼいないからだ。家庭というミクロと、社会というマクロを混ぜてはいけないのだ。

とは言え、女性の問題を考えると混ぜなければならないミクロとマクロもある。

例えば、男女のジェンダーギャップを縮めましょうという主旨の本を出している出版社などで、いまだに女性がお茶くみをしていたり、キッチンの冷蔵庫の整理をしている姿を見かけたりする。これらの女性たちは、それを専門の業務として雇用されている人々ではなく、事務や宣伝やデザイナーなど本来の業務は別にあり、その上でさらにお茶くみや清掃をやっているのだ。

こういうことが「当たり前」とされる環境がいまだ蔓延<sup>はびこ</sup>っているようでは、日本のジェンダーギャップ指数もなかなか上がらないだろう。ここではミクロな人々の意識とマクロな政治は直結しているのだ。ちょうど80年代の福岡からクールなバンドが偶然にいくつも出て来たわけではなく、Yのおばちゃんのような無数の人々がシーンを支えた土壌があってこそ有名バンドが出現できたように、足元の日常の中で人々がジェンダーの問題について考えていない場所から突如として女性議員だけが次々と誕生するわけがない。

千里の道も地べたから。地べたというのは「土」すなわち「土壌」のことでもある。福岡のロックシーンとYのおばちゃんのスタジオが日本の女性問題に示唆するものは大きい。

(出典：ブレイディみかこ「千里の道も地べたから」(日本文藝家協会編『ベスト・エッセイ2023』光村図書、2023年)。なお、出題にあたって、一部表現を改めたところがある。)

## 第2問

In the age of globalization, more and more companies are seeking college graduates who are able to work smoothly with colleagues and customers who are culturally different. What skills are necessary for college students to be able to succeed in job hunting? Please provide examples and details to support your description. Your response should be about 150 words in English. If using a Japanese word is necessary, add an explanation in English.

